

医療でスリランカ和平を

AMD Aが新計画 きょう現地へ

プロジェクトについて説明する
菅波代表（左から二人目）ら



ランカ問題担当の日本政府代表を務める明石康・元国連事務次長から要請を受け実施。現地では、二十年以上、シンハラ人と少数民族タミル人武装組織による内戦が続いていたが、現在、和平交渉が進められている。

派遣するのは菅波代表のほか、同プロジェクトの統括責任者・浜田祐子調整員(三〇)、石沢睦夫調整員(六六)。二月末にはさらに医師ら十人を派遣する予定。北、東、南部の三カ所に診療拠点を設け、避難民キャンプや診療設備が内戦で破壊された地域で巡回診療を行う。

菅波代表は「医療による和平貢献を絶対に成功させたい。プロジェクトが岡山発の国際貢献のモデルケースとなることを目指している」と話して

国際医療ボランティア
AMD A（本部・岡山市）
は、内戦が深刻化している
スリランカで「医療和平
プロジェクト」をスタ

ートすると三日、発表し
た。菅波茂代表ら三人を
四日に派遣し、巡回診療
などを行う。
プロジェクトは、スリ

AMD Aはプロジェクト支援の募金を集めている。郵便振替(0125 012140709、名義AMD A)で、通信欄に「スリランカ和平」と記入する。